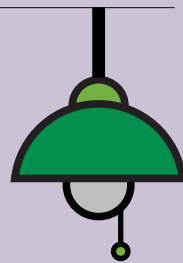


Book Reviews [自著紹介]



『セインズベリー 入門 ヘテロ環の化学』

出版社: 化学同人
定価: 本体2,200円+税
発刊日: 2004年10月25日

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
分子創薬化学分野

長尾 善光 ながお よしみつ

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
分子創薬化学分野

佐野 茂樹 さの しげき

英国化学会では、化学の基礎を学ぶための教科書として、テーマを絞り込み分かり易く解説した「*Frontier Chemistry Texts*」シリーズを刊行しています。本書は、英国バース大学セインズベリー教授によって著された同シリーズの「*Heterocyclic Chemistry*」を翻訳したものです。本書の特徴は、網羅的ではなく精選された必要不可欠なヘテロ環を取り上げ、記憶ではなく楽しみながら学ぶ(理解する)というスタイルを採用している点です。各章ごとに明示された学習目標と、目で見る重要項目(ボックス)、欄外の的を射た注釈、練習問題や章末問題、参考文献の紹介は、学生のみなさんが自学自

習するのに最適な構成となっており、重要ヘテロ環化合物の分子構造特性や反応機構、合成法をコンパクトにまとめながらも、ヘテロ環の化学を支配する主要な概念は網羅しており、本書でしっかりと基礎知識を学んでいけば、どのようなヘテロ環化合物にも十分対応することができるでしょう。

なお、翻訳にあたり、人名は原文のままを採用し、化合物の命名以外は直訳をさげ、読者が容易に理解できるように心がけました。また、原著において説明不足と思われる箇所は訳者の判断で随所に補足してあります。本書が、薬学、理学、工学、農学をはじめさまざまな分野で学ぶ学部生や大学院生の恰好のヘテロ環化学入門書としてお役にたてれば幸いです。



『総義歯を用いた無歯顎治療 —口腔解剖学の視点から—』

出版社: クインテッセンス出版
定価: 6,500円
発刊日: 2004年12月10日

大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面補綴学分野

市川 哲雄 いちかわ てつお

大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面形態学分野

北村 清一郎
きたむら せいいちろう

本書は、総義歯臨床とそれに関わる解剖学が相互理解できるような記述形式となっており、歯科学生や研修医を始めとして、総義歯臨床を基礎から勉強したい歯科医師のための専門書です。

義歯による治療は、診察と検査を経たのち、口の中の型どり(印象、かみ合わせどり(咬合採得)、蟬義歯段階での試適、そして完成、調整という診療手順を踏みます。これを教える方もされる方も、how toということにすぐに目がいかってしまいます。学生も一般臨床医も、解剖学が必要と認めても、口腔解剖学の成書はまず誰も見てくれません。もちろん歯学部でも、歯学専門教育は解剖学から始まります。解剖構造と

臨床がどう関係するかがわからないまま、細かい名称を覚えさせられ、試験を通ることに必死となります。そして、臨床系の、義歯の講義が始まる頃には、解剖学のこととは頭の片隅に全く追いやられてしまい、義歯がなぜそのような形になるのか、なぜそうしなければいけないか、理解しないまま進んでしまいます(自分の経験でも)

本書の執筆動機は、もちろん上述した点を改善したいということもありました。しかしそれ以上に、徳島大学歯学部の無歯顎補綴治療(歯の全くない人の総義歯やインプラント治療)と局所解剖学は全国の歯学部の中なかでもトップレベルという自負と、両者の協力関係が構築できるということからできています。実際、医科系の大学で、基礎と臨床の人間が原稿をいったりきたりさせて、二つの原稿に仕上げていくことはまずありません。本が出てしまえば、原稿のメ契に追われる日々が懐かしく感じられます。